

**第7次別海町総合計画策定に係る
第1回町民検討委員会ワークショップ結果
報告書**

2018年（平成30年）

別海町

目 次

1	ワークショップの目的	1
2	ワークショップの開催概要	1
3	ワークショップの結果	2
1	A班の結果	2
2	B班の結果	3
3	C班の結果	4

1 ワークショップの目的

2009 年度（平成 21 年度）に策定された第 6 次別海町総合計画が、2018 年度（平成 30 年度）をもって終期を迎えます。

総合計画とは、別海町が目指すべき将来像を、10 年先を見据えて総括的に策定するものであり、その策定に住民の意見は欠かせません。

本ワークショップは、新たな総合計画を策定するにあたり、住民の方々のご意見を広く反映すべく、全 5 回を開催するものです。

10 年先を見据え、これからの別海町をよりよく発展させるべく、ワークショップで生まれた住民の方々のご意見を検討し、その中から、新たに策定する別海町総合計画にふさわしい意見を選考し、反映させていただきます。

また、このような話し合いを通して、まちづくりへの興味関心の醸成につながれば幸いです。

2 ワークショップの開催概要

日 時：2018 年（平成 30 年）4 月 16 日（月） 18：30～20：30

場 所：別海町役場庁舎 1 階 101・102 号会議室

対 象：第 7 次別海町総合計画町民検討委員

主 催：別海町役場 総務部 総合政策課

参加者数：13 名＋職員 5 名

グループ：3 グループ（A 班 6 名、B 班 6 名、C 班 6 名）

テ ー マ：現状を知りましょう



3 ワークショップの結果

1 A班の結果

1 A班の意見

項目(分野)	現状の感想を意見してみましょう
○酪農	・酪農のさまざまな仕事を紹介する窓口 ・地域産業を体験できる施設、プログラムが必要 ・別海高校で乳牛を飼育 ・酪農体験をSNSで紹介 ・人とのつながりがリピーターを生む ・学校に行きながら酪農の両立が難しい ・酪農体験施設「カウパーク」を作ろう
○漁業	・地場産品を消費できない→都心部へ輸出
○観光・商工	・道の駅を整備 ・宿泊先が足りない ・イベントがないと人が集まらない
○教育・文化・スポーツ	・コミュニティスクールの充実
○つながり・交流・ネットワーク	・移住促進、住む所、働く所を紹介するシステムがない ・移住者を呼び込む以前に、住居の整備を
○人とまち 町の整備	・インターネット回線の整備が必要 ・床丹地区へのブロードバンド環境を整備してほしい ・別海町は広いため、人のつながりが薄い

2 A班のまとめ

牛乳生産日本一であるにもかかわらず、そのアピールが足りていないと感じる。

そうした中で、わくわくする体験施設として、「カウパーク」をつくろうという構想が出た。皆がわくわくして、子どもも集まり、そこに観光客もやってくる。また、「カウパーク」では、専攻科に通う学生たちが働き、そして学ぶこともできる。さらに、別海高校の酪農科が、もっと牛を飼って、牛乳を搾って、新規就農者を育成していくことができたらいいと思う。

その他に、カウパークを含めさまざまな場所で、これから酪農をはじめたいと思う方々が、酪農に関するさまざまな問題について、相談できればいいと考える。例えば仕事の紹介や住居の提供など。

こうした施設があれば、別海町ももっと人が集まる所になっていくと思う。

2 B班の結果

1 B班の意見

項目(分野)	現状の感想を意見してみましょう
○産業の活性化	・ 起業支援を使いづらい ・ 1次産業があつての他産業 ・ 飲食業の盛り上がりが必要 ・ 店の減少 ・ 自然の良さ
○酪農	・ 酪農規模の2極化 ・ 酪農後継者問題 ・ 国の補助金ありき ・ ふん尿問題 ・ 嫁不足
○漁業	・ 育てる漁業
○林業	・ 長期的な研究必要（専門家） ・ 河川、林業の重要性 ・ 水量が少ない
○観光・商工	・ 食観光 ・ 尾岱沼は通過点 ・ 町民が観光に興味ない ・ 対外PRの前に町内の意識 ・ 空き店舗が少ない

2 B班のまとめ

産業の活性化という点で、別海町は一次産業が主体になるので、一次産業がうまくいかなければ、他の業種もうまくいかないだろうと思う。その流れから、担い手・後継者問題をどうしていったらよいか話合った。

また、観光であれば、町外に対するアピールはよくしているが、町民自身があまり興味を持っていないように感じる。そのため、まずは町民に向けてPRしていかなければ、観光業はうまくいかないだろうと考える。

農業、漁業がうまくいくかどうかも含め、本日話合った項目は、全てがつながっていると思う。

3 C班の結果

1 C班の意見

項目(分野)	現状の感想を意見してみましょう
○産業の活性化	・ ベースは一次産業
○酪農	・ 労働人口にお年寄りが多い
○観光・商工	・ 景観が悪い ・ 魅力を感じる場所、観光、通過するだけ ・ 宿泊場所が少ない。民宿もどうか ・ 立ち止まる場所、観光 ・ 名所 ・ 観光に野付半島は知っているが、看板が少ない ・ 年間を通して魅力をもつ観光、点在地をつなげる ・ 案内標識が少ない ・ 冬の名所、湖が凍る ・ ネイチャーガイドのプロはいるがアピールが少ない ・ 道路の草がぼうぼう、どうやって刈る、ボランティア
○保健・医療・福祉	・ 町で産めること ・ 医者確保 ・ お年寄りが元気 ・ 体を動かす
○雇用	・ 職がない ・ アパートも高い ・ 人口を減らさない ・ 第1次産業を伸ばしてきたが
○つながり・交流・ネットワーク	・ 情報がない、発信がへた ・ ラジオFM ・ 地域ごとに意見が違うので ・ 地域、地域との関わりが弱い
○環境	・ 市街地とその他の差がある、不平等 ・ 施設に恵まれない、広いため ・ 自然が豊か ・ 離れても町がよいと思う ・ 点在化が進む ・ 同じサービスを受けたい

2 C班のまとめ

別海町は、景観のよい所がたくさんある。しかし、それをうまく使えていないと思う。通過するだけの町であり、宿泊施設が少なく泊まれない。そのため、周囲の町に人が流れてしまっていると感じる。また、若い人が少ないため、産業が活性化しない。そのほか、町が広く地区ごとに独立しているため、町全体としての一体感がなく、情報を町全体で共有できていないと思う。そこで、情報の発信をもっとうまくしていった方がよいと考える。

**第 7 次別海町総合計画策定に係る
第 1 回町民検討委員会ワークショップ結果
報告書**

発行年月：2018 年（平成 30 年）

発 行：別海町

編 集：別海町役場 総務部 総合政策課

住 所：〒086-0205 北海道野付郡別海町別海常盤町 280 番地

電 話：0153-75-2111

F A X：0153-75-0371